

ほろりかん

337 外人さん



大崎短歌会

兼題 『ツバメ・自由』

順調に育つ稲田の畦に立ち
ひたすら祈る災害なきを
早々と田植え終わりに横瀬田は
人影もなく白サギ数羽
雨を斬り二羽の燕の飛び来たり
ベランダの竿に羽をとじたる
田とツバメ農夫と蓑の六月は
浮世絵にある村の動画に
ゆすの木の若葉陽に映え今年又
燕の家族戻り来るなり
つばめ来る毎年馴染みの軒先に
孫の成長見守り立ちぬ
軒先の黄色くちばし勢ぞろい
幸運び来る彼の地の子らにも

井元かず子
榎園芳江
坂元つる子
山下海征
川崎健一
本後淑子
栢山重子

薩摩郷句

兼題 『運』

早植の早苗生き、風に揺れ
燕風切る大崎田ん圃
杉山にからす騒がし朝まだき
大雨の気配感じているのか
実吉安仁
上南紀子
運の良姉弟 百寿を頭て 米寿ずい
(唱) 賑ぎやけ姉弟い 元気を貰つ
娘ん運をば 婿い頼んち 渡てた傘
(唱) どうか頼んち 涙目ん父
女房け恵つ 運の良一生ち 神み感謝
(唱) あいようんだも 幸せじやなあ
井上三ちゃん
西ノ園ひらり
遠矢耐多

運の良事 急つとき 嬉し 青信号

(唱) 有難て事ち すいすい走つ

諸木小春

悪り運いも 最期や殿じよい 丁寧ねされつ

(唱) 幸せじやった あいがと亭主ちゃん

佐藤ぼつけちゃん

二口の 満期保険で 運に恵つ

(唱) 頑張つ 掛けたが 笑れが止まらん

藤元鬼瓦

運が向けば ブランドかもち 備蓄米

(唱) やつと買った米 旨まか古古米

下橋清美

今朝は早よ 働れた沙汰か 運の良こつ

(唱) 仕事ちや捌けつ 昼寝も出来つ

長重リリー

運の良朝 散歩をすれば 金ぬ拾つ

(唱) まさか懐れい 入れあすいめで

二見愚染満

運の良奥様 下戸亭主しいつも 運転らせつ

(唱) 機嫌の良奥様は 飲ん放題ビール

北村虎王

出来た嫁め 上げ下げ膳で 運の良こつ

(唱) ご飯ですよち 嬉しか御馳走

満石うらら

子の運をば 願つ大つ大つ 鉦ぬ打つ

(唱) 子供む頼んち 南無阿弥陀仏

上窪小絵